

GLOBAL TIMES VOL.9

平成 29 年度能勢高校 SGH 研究発表会を開催しました！

2月3日(土)、能勢町浄るりシアターホールにて、今年度のSGH課題研究の集大成となる「平成29年度SGH課題研究発表会」を開催しました。一人ひとりが意欲を持って課題研究に取り組み、現地に行って調べ、学び、分かったこと・訴えたいことを、自信を持って堂々と発表することができました。日本全国から大勢の方に来ていただき、発表後には多くの感想もいただきました。最後に、発表生徒全員が長い期間取り組んだ“思い”を述べました。指導していただいた先生方や、東北・マレーシアで出会った多くの人々への感謝、自分自身の成長など、発表を終えての感想を語りました。今後も能勢町と一体となり、課題研究に全力で取り組んでいきます。

●課題研究発表テーマ

①高校生地域創造サミット報告

「三重県南伊勢町の取組から学ぶ」

3年 大城桜子 2年 木下千穂 1年 辻結衣名

②ビジネスプラン・グランプリ作品

「高校生日本の故郷文化探検隊～広がる日本固有文化～」

1年 田中裕也

③平成29年度国内・海外実態調査について（英語発表）

「Understanding the World Through Fieldwork」

2年スーパーグローバルスタディ（SGS）受講生徒12名

④課題研究プレゼンテーション（日本語発表）～グローバルな視点からの地域課題解決について～

グループA「震災復興・被災地の取組から考えるふるさと創生」

2年 笠岡庸、西佳乃子、西井レオン、福井優、藤井俊輔

グループB「エビ養殖とマングローブ林破壊」

2年 長友健斗、東愛梨、水田龍斗、齊藤依乃里（留学中）

グループC「オイルパームプランテーションと熱帯雨林の伐採」

2年 稲原龍一、木下千穂、田村優妃、服部亮太

⑤SGH活動の感想 発表者全員

⑥SGH取組の展示公開（会場ロビー）

●運営指導委員・来賓

運営指導委員

伊井直比呂氏（大阪府立大学）、岡田尚美氏（一般財団法人国際開発機構）

片寄俊秀氏（NPO法人みつや交流亭）、平岡光生氏（能勢町商工会）

平田篤州氏（一般財団法人檸檬新報舎）、辻川義弘氏（大阪府教育センター）

岡本真澄氏（大阪府教育センター）

SGH管理機関 香月孝治氏（大阪府教育庁）

来賓 上島一彦氏（大阪府議会議員）、上森一成氏（能勢町長）



生徒の感想～活動を振り返って～

- ・自分が実際に海外へ行き、メディアが伝える国の印象が実際と異なることが分かった。
- ・SGSの授業を受けて、発信力や行動力、そして失敗に対する姿勢を学ぶことができた。
- ・マレーシアでエビ養殖について調査したが、大学でも継続して勉強してみたいと思った。
- ・フィールドワークや大学訪問など、沢山の貴重な経験をすることができた。

講座と講師の紹介

■ 1年SG基礎知識講座



第6回 9/4(月)『ビジネスプラン発表会』

●比留間 大輔さん(日本政策金融公庫・大阪創業支援センター所長)

ビジネスプラン・グランプリのクラス内発表(予選)とその代表による学年全体の発表会を行いました。様々なアイデアが提案され、発表後、比留間さんより講評がありました。

第7、8回 10/1(日)『文化祭模擬店出店』

●清水 利春さん(オイスカ関西研修センター所長)

●今岡 良子さん(大阪大学准教授 言語文化研究科言語社会専攻)

本校文化祭において、オイスカ関西研修センター協力のもと、研修生と共にフィリピンの伝統菓子作りと販売を体験しました。今岡先生のご指導で、羊のマスコット作り体験コーナーも開き、菓子の売上金はオイスカ研修センターに、羊マスコットの売り上げはモンゴルジェンターセンターに寄付しました。



第9回 11/30(木)

『三つの壁を考える～多様なルーツを持つ人々が共に生きる社会を作る～』

●河合 大輔氏(箕面市国際交流協会職員)

日本や大阪で暮らす外国籍を持つ人々について理解を深めたのち、「三つの壁(言葉の壁・制度の壁・心の壁)」について学習しました。



第10回 12/4(月)『世界のために自分でデザインする人生』

●久木田 純氏(関西学院大学 学長直属SGU招聘客員教授 元ユニセフ事務局長)

国連職員になれるまでのお話やユニセフで従事された救援活動の経験談、21世紀を生きる人材になるためにはどうすればいいかについてお話いただきました。

第11回 12/7(木)『都市再生のランドスケープ』

●中橋 文夫氏(公立鳥取環境大学教授 環境学部環境学科)

アメリカ、ボストンのパークシステムを例に“まちづくり”と公園の関係、環境緑化についてお話しされました。



第12回 2/8(木)『浄瑠璃の基本知識と実践』

●松田 正弘さん(浄るりシアター館長)

能勢の人形浄瑠璃の歴史や、実際に貴重な人形を持って来ていただき、動かし方を教えていただきました。



■ 1年SG基礎知識講座「家庭科」

全1回 2/8(木)『日本の伝統文化を知る～紙芝居～』

●安野 だんまる氏(ヤッサン一座 紙芝居師)

紙芝居を口演いただき、日本の街角伝統文化に触れることができました。



■ 2年SG基礎知識講座

第3回 11/15(水)『アメリカの人種問題と人権』

●荻野 克彦氏(箕面市国際交流協会理事<前理事長>)

アメリカの日本企業での管理運営経験から「黒人差別」「米国の強さ」についてお話を伺いました。コミュニケーション力として必要なことは『言語の習得+理屈で説得する論理的思考力+相手を寛容に受け入れる異文化理解+ハート+自分を持つこと』であると話しされ、それらを踏まえた上でのワークショップも行いました。



第4回 11/15(水)『信頼で世界を繋ぐ』

●早瀬 悟志氏(元JICA青年海外協力隊員)

青年海外協力隊の経験を通してのスリランカと日本の文化の違い、価値観や考え方の違いについてお話を伺ったあと、ワークショップ「フォトランゲージ」を行い、個人の固定概念や常識の違いについて学びました。



■ 2年・3年基礎知識特別集中講座「コミュニケーション英語ⅡⅢ」

12月16日から約1ヵ月間、オーストラリアのアデレードにあるBlackwood High Schoolから日本人留学生として来校していた平原美冴さんと交流を深めました。

1月には2年生と共にマレーシアへの修学旅行にも参加しました。

■ 2年SG重点分野講座

第31回 11/28(火)『途上国からのブランド作りに学ぶ』

～フェアトレードを超える途上国でのビジネス～

●濱口 香織さん(株)マザーハウス 梅田蔦谷書店店長)

●藤澤 憲人さん(株)マザーハウス ミント神戸店店長)



㈱マザーハウスは、「途上国から世界に通用するブランドを」をモットーに、アジアでの現地の原材料と技術を生かしたモノ作りを行っています。マザーハウスの成り立ちや目標についてのお話の後、能勢をブランド化するための課題についてワークショップを行いました。

第34回 12/5(火)『マレーシアのパームオイルとRSPO』

●小辻 昌平さん(サラヤ株式会社 総務人事本部 CSR推進部長)

「RSPO」(Round table on Sustainable Palm Oil=持続可能なパームオイルのための円卓会議)という会議体についての講義を受け、ワークショップでは「①環境NGO」「②プランテーションオーナー」「③森の住民」「④消費財メーカー」と4つの立場に分かれ、グループセッションを行いました



第35・36・41・42回 12/16(土)、1/16(火)、1/30(火)

●乾 陽子さん(大阪教育大学准教授 教育学部 教育協働学科)

2月の研究発表会に向けて課題研究の指導、プレゼンテーションの指導を受けました。

第32・33・37・38・39・40・43・44回 12/2(土)、12/23(土)、1/13(土)、2/6(火)、13(火)

●ティモシー・カーンさん(関西学院大学講師)

研究発表会に向けて、英語プレゼンテーションの指導を受けました。



国際交流と校外学習



■オイスカマレーシア高校生との交流と英語観光ガイドツアー

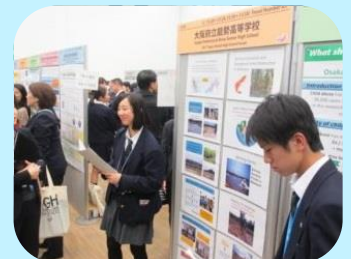
8月29・30日(火・水)、マレーシアからのオイスカ高校生たちと一緒に、2年SG重点分野講座受講生徒12名と本校留学生のバレが、京都に行きました。嵐山、清水寺など京都の主要な名所をガイドしながら巡りました。マレーシア高校生と先生方は日本の文化に大変興味を持っており、充実した国際交流となりました。

■豊能町ふれあいフェスティバル@豊能町立吉川中学校

9月9日(土)、豊能町立吉川中学校にて、小学生から大人まで幅広い年代の方を前に、2年SG重点分野講座受講生徒5名がSGH活動全般の話や、後半は「マレーシアの熱帯雨林」について発表しました。学校外の方に活動を知ってもらう良い機会となりました。

■SGH全国高校生フォーラム@横浜

11月25日(土)、横浜にて行われたSGH全国高校生フォーラムに参加しました。全国133のSGH校・アソシエイト校が参加し、能勢高校は「Shrimp Cultivation and Mangrove Forest Destruction in Malaysia」というタイトルで英語発表を行いました。



校・アソシエイト校が参加し、

■能勢町議会との懇談会

11月30日(金)、能勢町議会において、2年SG重点分野講座受講生徒3名と、3年SG重点分野講座受講生徒1名が懇談会を持ちました。3年生徒が、本年度取り組んできた課題研究成果の発表を行いました。

■2017草原の風モンゴル祭り@鞆公園

10月29日(水)、大阪にて開催された「2017 草原の風モンゴル祭り」に1年SG重点分野講座受講生徒3名と本校留学生1名がボランティアとして参加しました。モンゴル生産商品の販売をお手伝いし、昨年度のモンゴルへのSGH海外実態調査の紹介も行いました。



■高校生地域創造サミット@三重県南伊勢町

12月26・27日(火・水)、三重県教育委員会主催の「高校生地域創造サミット」に、本校SG重点分野講座受講生徒3名が招待されました。全国より93名の高校生の参加があり、南伊勢町でのフィールドワークに参加し、三重県知事を交えて話をする機会もありました。翌日はグループに分かれ、討議・発表を行いました。このサミットで学んだこと、当日行った発表は、「三重県南伊勢町の取組から学ぶ」として、SGH最終発表会で報告しました。



■ 箕面国際交流協会 (MAFGA) ・ 国際交流センター訪問

1月25日(木)、1年SG重点分野講座受講生徒14名が箕面国際交流協会(MAFGA)・国際交流センターを訪問しました。センター館長岩城あすかさんから、現在のトルコと周辺国をめぐる国際情勢とMAFGAが行う活動の説明、また箕面市の現状について、大阪大学の今岡良子先生からはモンゴルについての講演を聞き、箕面市“暮らしづくりネットワーク北芝”で子ども食堂などの活動をされている松村幸裕子さんより、「貧困とは？」というテーマでワークショップを行いました。



■ 能勢町里山保全活動@能勢町・荒木谷

2月17日(土)、能勢さとやま創造館代表の小谷義隆氏の指導のもと、2年SG重点分野講座受講生徒11名が、能勢町荒木谷で「菊炭と里山を未来につなぐ植樹会」に参加し、菊炭について学び、植樹を体験しました。3月18日(日)は能勢町田尻で「菊炭の里 里開き2018」に参加し、菊炭を使って能勢を活性化させるために何ができる

のかをグループに分かれて話し合い、発表しました。

■ マレーシア修学旅行でのプレゼンテーション

1月に行ったマレーシアでの修学旅行中、プトラマレーシア大学と姉妹校アスタ高校にて、2年SG重点分野講座受講生徒12名が課題研究成果を英語でプレゼンテーションしました。沢山の大学の先生方や大学生に課題研究発表を聞いていただくことができました。



■ SGH甲子園 2018@関西学院大学

3月24日(土)、関西学院大学に全国からSGH指定校が集まり、研究成果を発表しました。本校は、2年SG重点分野講座受講生徒4名が課題研究成果のポスターセッションを行いました。

マレーシアへ長期留学中です！

～アスタ高校からの便り～

今年1月から、2年SG重点分野講座受講生徒である齊藤依乃里さんが、マレーシア・クアラルンプール近郊にあるアスタ高校へ約1年間 AFS 留学生として派遣され、現地の学生と共に学校生活を送っています。アスタ高校は本校の姉妹校です。現地では、アスタ高校の先生でもある SHINTHAMANI さんファミリーの家にホームステイし、そこから学校に通っています。登校初日は、全校生徒約1,000人の前で、マレー語で挨拶をしました。日々の学校生活では、理数系の授業は英語で、それ以外の授業はマレー語で受けています。はじめは緊張の連続でしたが、SGH海外実態調査でマレーシアを訪れ学んだこともあり、早くも高校にも慣れ、留学生生活を思いきりエンジョイしています。

マラソン大会で3位！

ホストファミリーと♪

マレー語でスピーチ



平成30年度のSGH課題研究テーマについて

平成30年度の課題研究テーマは、「モンゴル『貧困とストリートチルドレン』～自立的な地域社会の構築と相互連携～」です。大阪大学 今岡良子准教授の指導を受けながら研究を進めていきます。海外実態調査では8月にモンゴルを訪れ、実際に現場でフィールドワークを行い、調査を行います。また、国内実態調査では、同じく今岡先生の指導のもと、8月に岐阜県中津川市加子母村を訪問し、一村一品、地産地消、環境保全による地域活性化について調査する予定です。SG重点分野講座では、グローバルな視点で課題を把握する力をつけるため、日々の学習活動にも力を入れて取り組んでいきます。